

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	健常者血液中における好中球細胞外トラップ量の解析
	研究目的	がん患者の血液はがんの診断、治療の際の指標となる因子を含む重要な研究試料ですが、健常者の血液データと比較解析することが必要です。がん患者の主要な合併症の一つに血栓塞栓症がありますが、この病態の発症原因の一つとして血液中の免疫細胞が放出する好中球細胞外トラップと呼ばれる物質があります。本研究では、がん関連血栓塞栓症の発症における好中球細胞外トラップの重要性を明らかにするために健常者血液中における好中球細胞外トラップの量を測定します。
	研究対象者	先行研究「患者血液を用いたがん研究のための健常人血液試料の採取：健常人の組織因子量およびがんバイオマーカー量の解析」(2019 疫-41)の遂行につき 2019 年 10 月～11 月に小田原市で行われた集団健康診断におけるベースライン調査に参加いただいた被験者様と 2020 年度に実施予定の企業集団健康診断会場にて行われるベースライン調査の受診者
	研究期間	西暦 2020 年 8 月 24 日～西暦 2023 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター ー 研究責任者	小井詰 史朗
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所がん分子病態学部、臨床研究所がん予防・情報学部
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当しない